

平成30年度 情報科「社会と情報」SYLLABUS

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 第 1学年 全クラス
教科書	最新 社会と情報 [実教出版] 岡本 敏雄 ・ 山極 隆	副教材等	社会と情報 学習ノート [実教出版]

1. 学習の到達目標

① 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得すると共に、情報社会と人間との関わりについての理解を深める
② 問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う
③ 情報を適切に活用すると共に、情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度を養う

2. 学習の計画

学期	月	単元名	学習事項	学習内容や活用	評価の材料等
前 期	4	オリエンテーション	オリエンテーション	年間の授業計画の説明、教科書・副教材の説明、定期 考査と評価方法、情報室の使用方法、ID・パスワード の発行・アンケート調査・入力練習	ワークシート 観察
		表現と伝達	情報リテラシー word、excel、powerpoint	ジグソー法を活用して情報やデータを扱う ための知識や能力を身に付ける	
	5	情報モラル	コミュニケーション手段の発達	コミュニケーションが成立する背景から情報通信技術の発達 を理解する	ワークシート 観察
	6		情報モラル	情報モラルとマナーを理解する。情報化の進展により起こる 影響を最新事例で考え、知的財産権について理解する	ワークシート 観察
			題材の設定と発表の手法	グループワークから身近な情報モラルの題材を設定し、発表 手順を理解する	
			情報収集・整理とデータ活用 情報分析と作品制作	情報の収集と整理をおこない、データを作成する グループで考察しながら解決・対策案を探索する。また作品 制作をおこなう	観察
			発表と評価	情報モラルのポスターセッションをおこなう。質疑応答及び 各題材の評価と改善をする	作品 評価シート
	7	アナログとデジタル	アナログとデジタル、情報機器 2進数と情報量 数値・文字・音声・画像の表現 情報のデータ量	情報のデジタル化の仕組みと表現を理解する	ワークシート 観察  学習ノート
	9	情報デザイン	情報デザインの必要性 情報の収集と整理	情報デザインの必要性や考え方を理解する 作品制作に必要な資料・データを収集し整理をする	ワークシート 観察
			情報の表現と作品制作	情報を伝える手法と基礎的なデザインルールについて理解し 作品制作をおこなう	観察
	発表と評価		作品発表と評価・改善をする	作品 評価シート	
後 期	10	プログラミング	アルゴリズムとフローチャート	アルゴリズムの基本構造について理解し、フローチャートで 手順・表現方法を考える	ワークシート 観察
			プログラミング	プログラミング言語を理解し、仕組みや手順を考えながら、 論理的思考能力を身に付ける	観察 作品 評価シート
	11	問題解決	問題の発見と明確化 情報の収集と整理 問題解決の手法と手順	身の回りに起こる様々な問題を取り上げる 情報を収集し整理をおこなう 問題解決の手法を理解し、問題解決するための 手順について学ぶ。また質問紙を作成する	ワークシート 観察
			アンケート調査の実施 解決策の検討	アンケート調査をおこない、分析する 解決案の検討をおこない、発表の準備をする	質問紙

12	解決案の発表 評価と改善	問題解決のプレゼンテーション発表をおこなう 問題解決の評価と解決手段の改善を模索する	作品 評価シート 学習ノート
----	-----------------	---	----------------------

学期	月	単元名	学習事項	学習内容や活用	評価の材料等
後 期	1	情報通信ネットワーク	情報通信ネットワークのしくみ	コンピュータを情報通信ネットワークに接続する方法を学ぶ インターネットを支える基本的な技術を理解する	ワークシート 観察
	2		Webページ作成 html	Webページ閲覧のしくみを理解する。またWebページの素材 作成や、情報収集をする	観察
	3		発表と評価	作品発表と評価・改善をする	作品 評価シート
			電子メール作成	電子メールの送受信のしくみを理解し、アカウントを作成す る。また、電子メールのルールを理解する	観察  学習ノート

### 3. 評価の観点

関心・意欲・態度	情報や情報社会に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。
思考・判断・表現	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。
技能	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。
知識・理解	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。

### 4. 評価法

<p>主体的・対話的に活動しているか、またワークシートや作品等の提出を含めて評価する。その活動を通して、評価シートを配布し、生徒による自己評価や生徒同士の相互評価を5段階でおこなう。定期考査は年3回実施。</p> <p>実習（提出物含む）評価・出席、授業態度、取り組む姿勢の評価・定期考査評価</p>
--

### 5. 担当者からのメッセージ

<p>授業は配布したワークシートを使って知識を深めながら整理をおこない、実習を通じて理解していきます。教科書や学習ノートの内容をすべては説明しませんので、各単元に合わせて予習をおこなってください。学習ノートは定期考査に合わせて提出してもらいます。定期考査の問題は教科書・学習ノートの内容を中心に出题します。留意点ですが、授業は基本的に情報室1 or 2でおこないます。飲食物の持ち込みはできません。毎時間、教科書・学習ノート・筆記用具を用意して下さい。可能であればワークシート等を収納するA4ファイルがあると便利です。</p>
---